



独立行政法人



国立病院機構

うれしの

NHO URESHINO MEDICAL CENTER

第20号

発行所
嬉野医療センター
佐賀県嬉野市嬉野町
大字下宿丙 2436番地
印 刷 陽文社印刷機

2009.2



「寒さに負けないさざんか」 撮影：企画課 磯部 武嗣

患者さんの権利

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1 安全で、かつ平等な最善の医療を受ける権利 | 5 常に人としての尊厳を守られる権利 |
| 2 疾患の治療等に必要な情報を得、また教育を受ける権利 | 6 医療上の苦情を申し立てる権利 |
| 3 治療法を自由に選択し、決定する権利 | 7 繼続して一貫した医療を受ける権利 |
| 4 プライバシーが守られる権利 | 8 生活の質（QOL）や生活背景に配慮された医療を受ける権利 |

うれしの

② 年頭所感

③ 看護研究推進の成果

日本医療マネジメント学会、九州山口連合大会に参加して

④ 助産師外来を始めました

花だより

⑤ 医薬品情報管理室コーナー

⑥ ちけん室コーナー

⑦ 気分転換してますか！

⑧ クリスマスコンサート

⑨ 看護学校に 花壇 ができました！

新人紹介

⑩ 外来診療担当医表／編集後記



年頭所感

新年あけましておめでとうございます。今年3月には、早くも独立行政法人国立病院機構(NHO)としての第一期5年を終了します。この5年間、当院は地域医療に貢献することによって、診療面ではNHO同規模病院中2位以内の評価をキープし、経営面では最終年度(平成20年度)に運営交付金なしでの収支相償を達成することが確実となりました。これまで築き上げた医療の質と経営基盤を元に、今後も社会的責任を果たし、社会に貢献できるよう病院の運営を行う決意です。

世界的には、100年に一度といわれる不況の波が広がり、日本においても、景気の低迷、雇用不安が強まっています。そのような中、世界のリーダーであるアメリカでは、「change」を訴えて黒人初のオバマ大統領が選出されました。年齢は47歳、ロシアのメドヴェージエフ大統領(43歳で就任)と共に40歳代の若いリーダーの誕生です。未来に希望が持てる、明るい変革を期待します。日本では医師不足による地域医療の崩壊が拡大しています。これを受け各制度の見直しが検討されてはいますが、不安定な政治情勢もあり、先が読めない事態に陥っています。このような状況もあり、今年の病院運営のテーマを、昨年の「勝負の年」から一転「力を蓄える年」としました。

何をどのように蓄えるのか。第1に「人材の育成」に力を注ぎます。病院には医師・看護師を始め、コメディカルスタッフ、事務職など多様な人々が、各々の職種のプロとして働いています。医師には専門医制度、看護師においても専門・認定看護師制度、その他の職種でも数多くの認定制度があります。当院職員は、これまでも率先して認定の取得に取り組んできていますので、病院としてもしっかり支援していきたいと思います。また、当院は管理型研修病院と

して研修医の教育、県内唯一のNHO附属看護学校として看護学生の教育にあたっています。将来の地域医療を支える彼ら彼女らを、知性と感性に優れ、広い視野をもった医療人に育て上げたいと考えます。更に、今年4月からの臨床研究部長の採用が決定しました。診療能力に加え、臨床研究能力の育成にも努めたいと思います。第2は「連携の強化」に取り組みます。これには2つの視点があります。これまで培った地域との連携を発展進化させることです。昨年末には、地域医療機関からの開放型病院への参加が、43施設から108施設へと飛躍的に増加しました。紹介率も60%を越え、逆紹介率は80%台に達しています。これまで以上に、かかりつけ医運動を推進し、患者さんを中心とした密接で質の高い連携体制を構築したいと思います。このため、来年度から地域医療連携室に専任の看護師を配置し、看護の専門性を活かした新たな連携をスタートさせます。もう一つの視点は院内の各診療科間および各部門間の連携です。各々の専門性が向上しても、連携が取れないことは十分な効果を発揮できません。患者さんを中心に統括診療部、看護部、コメディカル部門、事務部等が、職種横断的にフラットな連携を深める体制を整えます。

人々が安心して暮らすことができ、住みたくなる地域作りに向け、医療面から支援できるよう、「力を蓄える1年」にしたいと思っていますので、よろしくお願ひします。



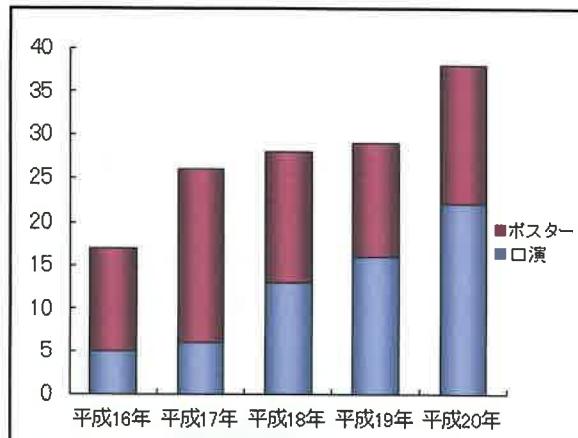


看護研究推進の成果

副看護部長 山田 巧

看護部では看護職員の研究的視点を習得させることを目的に掲げ看護研究を推進してきている。平成18年度から3カ年計画として「看護研究の質の向上」を掲げ、具体的には患者や家族を対象とした看護研究の倫理委員会受審の義務化、査読のある学会への投稿や口演発表数の増加を掲げた。

まず、看護研究の指導者確保に努め、福岡と長崎の大学教員4名を招き、年に4回程度の講義と直接指導を3~4回受ける指導体制をとってきた。このような看護部の研究支援の成果は、ここ数年の学会発表数の増加に現れている(グラフ参照)。平成18年度は28件(口演13、ポスター15)、平成19年度29件(口演16、ポスター13)であり、平成20年度は過去最高の38件(口演22、



ポスター 16)の実績を上げている。

看護部の理念として新たに設けた「プラス1(one)の看護」を提供するためにも、これらの研究成果を臨床実践に活用し、創造性と専門性を追求した独自性ある看護を目指して行きたい。



日本医療マネジメント学会、九州山口連合大会に参加して

看護師 土井 千佳

平成20年11月7~8日に宮崎市で開催された日本医療マネジメント学会九州山口連合大会に参加し、『TKA患者の術後経過の調査~パス改訂に向けて~』というテーマで口演発表をしました。研究を進めていく過程で、様々な視点からTKA患者の術後経過を見直し、現行パスの問題点や課題を明らかにすることことができました。

当院のTKAの症例数は年々増加しています。今後、より良いパスの使用ができるように細分化したパスの作成に取り組んでいきたいと思います。学会での発表は今回が2回目でしたが、前回とまた違った雰囲気を

楽しむことができました。今回参加した学会では、他の施設の取り組みや多くの分野のパス展示があり、新たな発見と学びの機会となりました。今回の学びを、病棟に還元し、看護の質の向上に微力ながら努めていきたいと思います。





助産師外来を始めました

副看護師長 大島 玲子



当センターの産婦人科には、13人の助産師が勤務しており、皆様に「安心と快適さ」を提供できるよう、平成20年10月1日より助産師外来を開設しました。助産師は、出産の際お手伝いさせていただくことはよく知られていますが、思春期から妊娠、分娩、産褥、母乳育児、子育て、更年期を通して女性をトータルサポートする身近な相談相手でもあります。そこで、当院の助産師外来は、妊婦健診の一部を助産師が行うほか、母乳育児や骨盤ケアなどの保健指導、更年期相談、思春期相談、育児相談などを週3回予約制で行っています。

皆さん、一度助産師外来で、ゆっくり不安なことや心配事など話してみませんか？



花だより

編集副委員長 計屋絃信

蝟梅(ろうばい)は唐の国から来たこともあり唐梅(とうばい、からばい)とも言われ、花被片が蝟細工のようだったためでしょう中国名も蝟梅です。名前に梅がついているため梅が属するバラ科サクラ属と誤解されやすいのですが、ロウバイ科ロウバイ属で、1月から2月にかけて黄色い花を付ける落葉広葉低木とのことです。

よく栽培されているのは花全体が黄色でソシンロウバイ(素心蝟梅)と言われる種類だそうです。

また、花やつぼみから抽出した蝟梅油は強い抗菌・抗炎症作用や皮膚の再生作用があり軟膏に配合されるそうです。





医薬品情報管理室コーナー

医薬品情報管理係長 高島 伸也

名称で間違えやすい薬剤がある！

病棟での会話

医 師：Aさんは眠れないことがあるようなので、今晚から睡眠剤を処方しておきます。

薬剤師：（疑義照会）

「マイスタン細粒5mg、不眠時に頓服3回分」となっていますが、マイスタンで間違いないでしょうか？

医 師：あれ・・？マイスリー錠5mgの間違いです。



落とし穴

名称の似ている薬剤を間違えている

当院ではオーダリングシステムの工夫として3文字入力で選択エラーを防いでいます。また、インシデント事例を参考に名称類似薬は採用しないことで、3文字入力後にオーダーメニュー画面上に表示される薬剤は格段に減少しますので極力名称類似薬は採用しないようにしています。しかし、エリスパンとエリスロシン、マイスリーとマイスタンのように頭3文字が同じものもあるので注意が必要です。

一方、テオドールとテグレトール、トレドミンとレンドルミンDのように頭と尻文字の発音や語感の類似した薬剤は特に薬剤師による調剤ミスが多いことが「ヒヤリ・ハット」全国的調査の集計結果で報告されています。

先日、他施設において副腎皮質ホルモン剤のサクシゾンと筋弛緩剤のサクシンを取り違えたことにより、患者が死亡したとされる医療事故が発生しています。当院ではサクシンは採用されていませんが、名前や語感が間違えやすい薬剤は数多くあります（表1）。薬剤科が配布した「医薬品の安全使用のための資料」の中にも掲載されていますので参照してください。間違えやすいポイントを学び、事故防止に努めましょう。

表1 名前や語感が間違えやすい薬剤の例

アイトロール：アロシトール	タキソール：タキソテール
アスペリン：アスピリン	ネオラミンマルチ：ネオラミンスリービー
アマリール：アルマール	ノイトロジン：ノイロトロピン
ウテメリン：メテルギン	ノボヘパリン：ヘパリンナトリウム
テオドール：テグレトール	パクリタキセル：ドセタキセル
デパケン：デパケンR	ピクシリン：ピクリン
トレドミン：レンドルミン	プロスタルモンF：プロタノールL
ノイロトロピン：ノイロビタン	メイロン：メチロン

文責：医薬品情報管理室

参考文献：医薬品過誤プレアボイドー落とし穴に気をつけて／南江堂

ちけん室コーナー

治験管理室 CRC 岩永由香



今回のお題

おくすりができるまで

当院でもたくさんの患者様に治験に参加していただき、私が担当した治験の中によく「くすり」として厚生労働省の審査をパスして、発売されるくすりができました。患者様に実際に「くすりの候補」を使用していただく「治験」というのはくすりの開発の過程でなくてはならないものです。今回はくすりができる過程をおさらいいたしましょう。

<基礎研究> 2～3年

化学物質や天然素材(植物や鉱物など)、バイオテクノロジーなど技術から薬になるもとを発見、創製します。



<非臨床試験> 3～5年

薬としての可能性のある物質を対象に動物や培養細胞を用いて効果や安全性を確かめます。



<治験> 3～7年

非臨床試験にパスした「薬の候補」がひとに安全で効果があるかを調べます。これを「治験」といいます。治験は3段階にわかれ、病院などで健康なひとや患者さんに実際に使用してもらい、効果や副作用についての確認が行われます。すべての薬は患者様が治験に参加してくださることで作り出されています。



第1相試験

健康なひとを対象に安全性を調べます

第2相試験

少数の患者さんに効果や副作用、投薬量などを調べます

第3相試験

多数の患者さんに効果や副作用、既存の薬との比較について調べます



<承認申請と審査> 1～2年

治験の3段階において効果と安全性が確認できたら治験の結果を厚生労働省に報告し、くすりとしての販売の許可をもらいます。



★ このように新しい薬ができるまでは多くの試験と長い年月がかかります



■気分転換してますか！

フットサル部 波多 史朗

アセを流した後のビールは旨い!!
何と言ってもフットサルが終わった後に仲間で飲みに行くのが、楽しい!!

我々フットサル部は、毎週木曜日、17時半から20時まで当院体育館で“いいアセ”を流しています。リハビリ、看護部、看護学生さん、薬局、医局、放科その他の友人で毎回15-20名が集い、無邪気にプレーを楽しんでいます。全く経験のない人から、オーバーヘッドキックを決める人までレベルは様々。ポジションに固定されることなく、自由に動き回り(--個々の体力に応じて--)、思い思い気軽にプレーしています。ゴールチャンスも多く、“球蹴り”の感覚で参加でき、誰でもゴールさえ決まれば“ファンタスティックな瞬間”を味わい、本年度年間最優秀選手賞「バロンドール」に輝いた□ナウドになったような気分を満喫できるのです。この時、きっと脳内にはβ-エンドルフィンが充満しているに違いありません。

週に1回この楽しみを味わうことで、仕事・生活にメリハリがつきます。時間は与えられるものではなく、自分で創るもの。私自身も、どうにか仕事に区切りをつけ、時間を作り、半ば強制的に参加するようにしています。フットサルとその後の“飲み会”を通じて、他の職域の人と会話すれば

気分転換になり、ストレス発散につながって、自然と明日の仕事にもヤル気が出てくるものです。毎週木曜日のこのひと時は、何よりの清涼剤であり心と体の滋養強壮・栄養補給薬の役目を果たしています。こんな楽しい付加価値のあるフットサルに参加することで“新しい自分”を見つけるきっかけになるかもしれません。

是非、木曜日に体育館を覗いて下さい。楽しみに待っています！

PS:長崎原爆病院、長崎医療センター、佐世保市立総合病院、長崎労基病院などと対外試合も頑張ってます。また、毎年夏のビーチサッカーも楽しみです。





クリスマスコンサート

音楽部部長 計屋 紘信

12月7日に恒例のクリスマスコンサートが玄関ホールで開かれました。

職員の手作りボランティアコンサートですが、今回で足掛け10年、20回目となりました。

いつものようにクリスマスマドラーが演奏され、クラシック、ポップス、演歌などあり、約1時間の楽しいときが流れました。

また嬉野オカリナクラブと大村胡弓の会の友情出演もいつものようになされました。

私が音楽部部長を初めからやってきましたが、今年度を持って定年退職となり、現役最後のコンサートとなりました。あとは産婦人科の一瀬先生に部長を引き継いでもらうことになっています。

写真は演奏中のスナップです。頑張っている姿が見えてきます。

最後の挨拶でNHKの大河ドラマ「篤姫」から、13代將軍家定公の言葉「わしが残したいのは家でもない城でもない、徳川の心なのだ」と篤姫を励ますところがありましたが、私達職員は患者さんとのふれあいで励ましと愛をいただいている、1日も早い退院を祈っていますと挨拶をして拍手を頂きました。

これから嬉野病院がさらに充実していくことを祈っています。





看護学校に花壇ができました！

看護学校 教員 朝永 恵美子

このたび12月に看護学校の北側に花壇ができました。同窓会からの校舎新築祝いと今年卒業する3年生の卒業記念としていただきました。大きな枝垂れ桜の木を囲んで、4つの花壇があります。春を待って少しづつ花を植えていきたいのですが、今は、ガーデンシクラメンやアネモネが咲いています。花の世話をすることで、学生たちも季節の移り変わりや花の美しさ・植物を育てる楽しさを感じ、感性豊かな看護師に育ってくれればと願っています。まだまだ初心者ですので、育てやすくきれいな花の苗が自宅にあれば、ぜひ、学校にあそそ分けしていただければと思います。まずは、4月に大きな枝垂れ桜の開花のお知らせができるかと思います。



新人紹介



皮膚科医長

大仁田亜紀

2008年12月より勤務しております皮膚科の大仁田亜紀です。大村市の国立病院機構長崎医療センターより転勤となり参りました。

嬉野は初めての勤務地ですが穏やかな雰囲気でいい土地だと聞いております。

地域医療に貢献すべく頑張りたいと思いまのでどうぞよろしくお願ひします。



外来看護師（非常勤）

岸川 彩

外来に勤務することになりました岸川です。実務経験が少ない分外来勤務を通して様々なことを学んでいきたいと思っ

ています。

皆さんにはご迷惑をかけてしまうことが多いと思いますが、自分の出来ることを一つ一つ確実にしていける様に頑張ります。よろしくお願い致します。



外来看護師（非常勤）

久富 静恵

1月より内科外来へパートで勤務しております。患者さんの立場にたって親切をモットーに務めて参ります。何より安全に安心感を得られるよう対応していきたいと思います。

ブランクも長く皆様に御迷惑をおかけすることも多いと思いますがよろしくお願ひいたします。

嬉野医療センター・外来診療担当医表

区分	月	火	水	木	金
呼吸器科	午前 副島 佳文 飯田 哲也	松竹 豊司	副島 佳文	飯田 哲也	松竹 豊司
消化器科	午前 町田 治久(消化管) 川副 広明(肝臓)	鶴田 英夫・吉川 敦 藤本 優(肝臓)	池田 真帆・吉川 敦 町田 治久	鶴田 英夫(消化管) 藤本 優(肝臓)	池田 真帆 川副 広明(肝臓)
循環器内科	午前 山方 勇樹 吉田 健夫	波多 史朗	吉田 健夫	波多 史朗 吉田 健夫	山方 勇樹
心臓血管外科	午前 須田 久雄(予約新患)	須田 久雄 力武 一久	須田 久雄(予約新患) 力武 一久(予約新患)	須田 久雄(予約新患)	須田 久雄 力武 一久
糖尿病・膠原内科	午前 田中 史子			田中 史子	河部庸次郎
リウマチ科	午前 河部庸次郎		荒武弘一郎	荒武弘一郎	田中 史子
神経内科	午前		溝田 貴光	溝田 貴光	
腎臓内科	午前 中沢将之(整形で診察)		中沢将之(整形で診察)		
小児科	午前 小野 晋康	川内 恵美	佐藤 忠司	田島 大輔	船越亜希子
	午後 佐藤 忠司 (診察 14:00 ~ 16:00)	乳児検診(完全予約制) (診察 14:00 ~ 16:00)	小児神経(第3水曜) (診察 14:00 ~ 16:00) 心臓外来 第1水曜 (受付 13:00 ~ 16:00)	小児神経(第1木曜) (診察 14:00 ~ 16:00) 小児腎臓外来 第2木曜 内分泌外来 第3木曜	小野 晋康 (診察 14:00 ~ 16:00)
外科	午前 岡 忠之①②④	生田 安司①②④	黨 和夫①③	柴崎 信一①③	富永 哲郎①③
	午後 岡 忠之・生田安司(乳腺外来) (診察 14:00 ~ 16:00)				
整形外科	午前 村田 雅和 久芳 昭一 穂積 晃	前田 和政 松村 陽介 宮田 健明	古市 格 村田 雅和 穂積 晃	前田 和政 宮田 健明	古市 格 松村 陽介 久芳 昭一
脳神経外科	午前 石橋 秀昭	宮園 正之		宮園 正之	
皮膚科	午前 大仁田亞紀(新患) 岡崎志帆子(再来)	岡崎志帆子(新患) 大仁田亞紀(再来)	大仁田亞紀(新患) 岡崎志帆子(再来)	大仁田亞紀(新患) 岡崎志帆子(再来)	大仁田亞紀(新患) 岡崎志帆子(再来)
泌尿器科	午前 林田 靖(新患) 計屋 紘信(再来)	計屋 紘信(新患) 大庭康司郎(再来)	林田 靖(新患) 大庭康司郎(再来)	計屋 紘信(新患) 林田 靖(再来)	大庭康司郎(新患) 林田 靖(再来)
	午後 予約外来			予約外来	
産婦人科	午前 松脇 隆博(産・婦)	一瀬 俊介(産) 松脇 隆博(婦)	助産師外来(9時~16時) (完全予約制)	松脇 隆博(産) 一瀬 俊介(婦)	一瀬 俊介(産・婦)
	午後 助産師外来(14時~16時) (完全予約制)			助産師外来(14時~16時) (完全予約制)	
眼科	午前 新納 栄良	新納 栄良	新納 栄良	新納 栄良	新納 栄良
	午後 予約外来 (特殊検査・特殊治療)		予約外来 (特殊検査・特殊治療)		予約外来 (特殊検査・特殊治療)
耳鼻咽喉科	午前 宗 英吾 馬場 明子	宗 英吾 馬場 明子	宗 英吾・馬場 明子 (診察 13:00 ~ 16:00)	宗 英吾 馬場 明子	宗 英吾 馬場 明子
	午後 予約外来				
放射線科	午前 牧野 謙二 福井健一郎	牧野 謙二 福井健一郎	牧野 謙二 福井健一郎	牧野 謙二 福井健一郎	牧野 謙二 福井健一郎
麻酔科 (ペインクリニック)	午前 香月 亮 上村 裕平	香月 亮 上村 裕平	香月 亮 上村 裕平	香月 亮 上村 裕平	香月 亮 上村 裕平
	午後 吉田 昌人	吉田 昌人	吉田 昌人	吉田 昌人	吉田 昌人
救急科 (8:30~17:15)					

ご紹介いただく患者様につきましては可能な限り事前予約をおとりいただきますようにお願い致します。
(当院の受付時間は、午前8時30分~午前11時00分迄です。)

※ 内科系 第2・第4木曜日はベースメーカー外来を行っています。

毎週月・金曜日の午後は一般外来を受けています。(受付 13時~16時)

毎週火曜日午後は乳児健診(完全予約制) ■ 第1水曜日の午後は心臓外来(受付 13時~16時) ★完全予約制

毎月第3木曜日の午後は内分泌外来(受付 13時~16時まで)

毎月第1木曜日・第3水曜日の午後は小児神経外来(受付 14時~16時まで) ★完全予約制

毎月第2木曜日の午後は小児腎臓外来(受付 13時~16時) ★予約制

外科 ①一般外科 ②呼吸器外科 ③消化器外科 ④乳腺外科 ■ 每週月曜日の午後は乳腺外来を行っております。(受付時間 13時~16時)

整形外科 ご紹介は整形外来宛でお願いします。救急患者については救急室にて対応しています。

泌尿器科 每月第1火曜日の午後は、ストーマ外来を予約により行っています。 ■ 每週火・木曜日の午後は、検査予約外来を行っています。

産婦人科 每週月・木曜日の午後は母乳育児指導を受け付けています。(受付時間 13時30分~15時30分)

耳鼻科 每週水曜日の午後は一般外来を受け付けています。(受付時間 13時~16時)

毎月第1・第3木曜日の午前及び毎週水曜日の午後は、補聴器外来を行っています。

麻酔科 ご紹介は月曜日でお願いします。救急の場合にはこの限りではありません。

2009. 1. 1

あけましておめでとうございます。読者の皆様には良いお正月を迎えたことと存じます。

遅くなりましたが、嬉野医療センターから広報誌20号をお届け致します。

1面の写真は病院敷地内に咲いていたざんかの写真です。企画課の磯部氏に撮っていただきました。

今号は冒頭に古賀院長から年頭所感を書いていただき、2009年の当院の方向性が示されました。

ついで看護研究推進の成果、研修会報告、薬剤科からの情報コーナー、治験室コーナー、運動部、音楽部からのニュース、新人紹介など最近の当センターの動きをご紹介いたしました。

どうぞご自由にお持ちください。お読みいただきご感想などお寄せいただければ幸いに存じます。

広報誌編集副委員長 計屋 紘信 (0954-43-1120 内線669)